

日本生涯教育学会第42回大会開催要項

1. 大会期日（受付・オンライン入室可）

前日 11月26日（金） 13時00分より
1日目 11月27日（土） 9時30分より
2日目 11月28日（日） 9時00分より

2. 主催 日本生涯教育学会

3. 共催 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、尚絅学院大学、東北学院大学、宮城教育大学

4. 後援・協力

後援：大衡村教育委員会、女川町教育委員会、角田市教育委員会、（株）オーエンス、
（株）河北新報社、（株）孔栄社、（株）東北農都共生総合研究所、川崎町教育委員会、
栗原市教育委員会、気仙沼市教育委員会、仙台市社会学級研究会、仙台市嘱託社会教育主事
研究協議会、仙台市PTA協議会、仙台ひと・まち交流財団、多賀城市、多賀城市教育委員会、
富谷市教育委員会、名取市教育委員会、宮城県公民館連絡協議会、宮城県社会教育委員連絡
協議会、宮城県社会教育協会、宮城県PTA連合会、村田町教育委員会、山元町教育委員会、
亘理町教育委員会（アイウエオ順）

協力：仙台市生涯学習支援センター、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

5. 大会参加費 会員・非会員（臨時会員）共に無料

6. 学会費 会員は受付で学会費の納入を受け付けます。年会費は8,000円です。

7. 会場 主会場：東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1（参加者受付：会場3階）

8. 大会日程

前日 11月26日（金）エクスカージョン（13:00～15:15）
（※ 学会大会が完全オンラインでの開催となった場合には中止）

○ プレイベント

趣旨：震災から10年目となる被災地の現状と、震災時及び震災後の復興の様子等について、
震災遺構・関連施設の見学や、施設職員・語り継ぎボランティアの話から学ぶ。
訪問先：仙台震災遺構荒浜小、せんだい3.11メモリアル交流館

1日目 11月27日（土）※ オンライン中継との併用

1. 「若手カフェ（若手中心の気軽な朝の交流会）」（9:45～10:45）
2. 展示発表（11:00～12:30）
3. 開会式（13:00～13:10）
4. 生涯学習政策研究フォーラム（13:10～15:35）

第1部 「基調講演と対談」（13:10～13:55）

【基調講演】講師：合田 隆史 氏（尚絅学院大学学長、日本生涯教育学会前会長）

テーマ：都市－地方の枠組みを超えて－高度生涯学習社会を拓く

【鼎談】登壇者：山田 司郎 氏（名取市長）

渡辺 一馬 氏（一般社団法人ワカツク代表）

合田 隆史 氏

第2部 「課題研究」（14:05～15:35）

【課題研究Ⅰ】「東日本大震災から10年、いま私たちがやるべきこととは」

【課題研究Ⅱ】「人口減少・ポストコロナ状況における地域づくりと社会教育
～開かれ、つながる社会教育の実現に向けて～」

- (1) 事例発表
- (2) パネルディスカッション
5. 生涯学習実践事例研究部会 (15:45～18:05)
6. 情報交換・懇親会 (18:30～)

2日目 11月28日(日) ※ オンライン中継

1. 総会 (9:15～9:45) ※ 学会員のみ
2. 自由研究部会 研究発表Ⅰ (10:00～11:55)
3. 自由研究部会 研究発表Ⅱ (13:00～14:35)
4. 学会長賞表彰式 (14:50～15:00)
5. 閉会式 (15:00～15:10)

※ 評議員会・理事会は該当者へ別途連絡いたします。

9. 大会日程表

月日		午前			午後					
大会前日 11月26日 (金)					エクスカーション ※ 25名程度 (13:00～15:15) 訪問先：仙台震災遺構 仙台市立荒浜小学校 せんだい3.11メモリアル交流館					
1日目 11月27日 (土)		若手カフェ (若手中心の気軽な朝の交流会) (9:45～10:45)	研究発表 展示発表 (11:00～12:30)	昼休憩	開会式 (13:00～13:10)	生涯学習政策研究フォーラム			生涯学習実践事例 研究部会 (15:45～18:05)	情報交換・懇親会 (18:30～)
						第1部 基調講演と対談 (13:10～13:55)	第2部 課題研究 (14:05～15:35)			
						【課題研究Ⅰ】 (1)事例発表 (2本) (2)パネルディスカッション 【課題研究Ⅱ】 (1)事例発表(3本) (2)パネルディスカッション				
		【受付・入室許可】 評議員・理事会 若手カフェ9:30～ 展示発表10:30～			【受付・入室許可】 12:30～					【受付・入室許可】 18:15～
2日目 11月28日 (日)		総会 (9:15～9:45)	自由研究部会 研究発表Ⅰ (10:00～11:55)	昼休憩	自由研究部会 研究発表Ⅱ (13:00～14:35)	学会長賞 表彰式 (14:50～15:00)	閉会式 (15:00～15:10)			
		【受付・入室許可】 総会9:00～ 自由研究部会9:45～			【受付・入室許可】 自由研究部会12:45～			【受付・入室許可】 14:35～		

10. 留意事項

(1) 大会の参加について

- 大会の参加については、対面参加・オンライン参加を問わず、参加申込みフォームからの申込みが必要となります。詳しくは、別紙をご覧ください、ご確認ください。
- 当日のZoomに参加するためのURL等の連絡については、大会参加申込みフォームに記載されているメールアドレスに送信しますので受取可能なメールアドレスを入力してください。
- 大会前日エクスカーションの参加申込みは10頁に掲載の実施要項から別途お申し込みください。

(2) 開催方法の変更について

- 今後の感染拡大の状況によっては、全面的なオンライン化も含め、実施方法が変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。その場合、参加方法等については後日、連絡することとしております。
- 全面オンライン開催となった場合、大会前日のエクスカーション(プレイベント)は、中止となります。

11. 大会に関する連絡先

第42回大会実行委員会事務局 confe@j-lifelong.org

大会概要 1日目（11月27日 土曜日）

1. 「若手カフェ（若手中心の気軽な朝の交流会）」（9:45～10:45）

ホーイ記念館H310教室（オンライン中継との併用）

世話役：青山 鉄兵（文教大学）

世話役：佐藤 裕紀（新潟医療福祉大学）

概要：若手会員による研究や交流の活性化を目的とした「若手中心の交流会」

これまであまり交流の機会のなかった若手会員に、コーヒー等を片手にそれぞれの研究や学会との関わりを紹介してもらいながら、研究上の課題や学会のあり方等について、自由に話し合う会としたい。

＊特に年齢制限等は設定しない。会の趣旨を理解していただける方であれば誰でも参加可能（非会員の方も歓迎）

2. 展示発表（11:00～12:30）

ホーイ記念館3階東側空間（オンライン中継との併用）

概要：ポスターセッションと発表者のオンラインによる口頭報告（発表21件）

コード	個人・共同別	題 目	発表者	所 属
Ⅲ - 22	個人	コロナ禍における非来館型の博物館活用	八田 友和	クラーク記念国際高等学校
Ⅲ - 22	個人	美里町の社会福祉法人との協働による南郷小の福祉教育について	青山 修司	美里町立南郷小学校
Ⅲ - 32	共同	体験活動を通して自他の未来を主体的に切り拓いていこうとする青少年を育成する～宮城県松島自然の家 探求的活動「クリエイティブチャレンジ（創造的試行活動）」の取組～	○元木 耕一郎 難波 智昭	大崎市立古川第四小学校 宮城県松島自然の家
V - 1	共同	仙台市嘱託社会教育主事研究協議会の実践	○高山 典子 石垣 恵	仙台市嘱託社会教育主事研究協議会 仙台市立生田小学校
V - 1	共同	青少年教育施設における生活習慣の改善をねらいとした一試み－教育事業「ココロとカラダにeキャンプ」の実践－	○郡司 佳代子 妹尾 剛 虻川 大樹 色川 洋二 大塚 達以 岡崎 勘造 黒田 守道 高橋 諒	国立花山青少年自然の家 国立花山青少年自然の家 宮城県立こども病院 宮城県教育庁生涯学習課 東北大学病院精神科 東北学院大学教養学部 国立花山青少年自然の家 国立花山青少年自然の家
V - 1	個人	トークフォークダンスを活用した成長型マインドセットの涵養	山崎 賢治	特定非営利活動法人ハーベスト
V - 1	共同	美術館による「まちの記憶」の収集と創造－塩竈市杉村惇美術館による市民協働事業－	○高田 彩 松山 隼 岩澤 克輔 阿部 沙斗加 関口 麻穂 川村 智美	塩竈市杉村惇美術館 塩竈市杉村惇美術館 塩竈市杉村惇美術館 塩竈市杉村惇美術館 塩竈市杉村惇美術館 塩竈市杉村惇美術館
V - 1	共同	仙台市社会学級研究会の実践について	○若生 彩 千田 恵 高橋 千香子	仙台市社会学級研究会 仙台市社会学級研究会 仙台市社会学級研究会
V - 1	共同	仙台市市民センターにおける「市民参画型事業」について	○佐伯 修一 高野 洋平 橋本 勇人 細貝 和子	仙台市生涯学習支援センター 仙台市生涯学習支援センター 仙台市生涯学習支援センター 仙台市生涯学習支援センター

コード	個人・共同別	題 目	発表者	所 属
V - 1	共同	仙台市市民センターの復興・防災の取組み	○高野 洋平 佐伯 修一 橋本 勇人 細貝 和子	仙台市生涯学習支援センター 仙台市生涯学習支援センター 仙台市生涯学習支援センター 仙台市生涯学習支援センター
V - 1	共同	子どもたちの豊かな人間関係に基づく充実した生活を創るために～みやぎアドベンチャープログラムを活用した心の復興の取組～	○菅原 綾 小川 仁志 安達 章美 中澤 健一 遠藤 安孝	宮城県松島自然の家 蔵王町立円田小学校 気仙沼市立松岩小学校 宮城県松島自然の家 利府町立菅谷台小学校
V - 1	共同	協働教育推進事業「富谷市地域・学校・家庭をつなぐ取組」実践事例 ～富谷流「学校を核とした地域づくり」～	○織田 利彦 野呂 祐真 堀田 望弥 伊深 愛華 及川 直江 松本 厚子 新富 留美 水野 悦子 菅原 幸市 佐藤 英子	富谷市教育委員会生涯学習課 富谷市教育委員会生涯学習課 富谷市教育委員会生涯学習課 富谷市教育委員会生涯学習課 富谷市教育委員会生涯学習課 富谷市教育委員会生涯学習課 富谷市教育委員会生涯学習課 富谷市教育委員会生涯学習課 富谷市教育委員会生涯学習課 富谷市教育委員会生涯学習課
V - 1	共同	かく大學の実践 ～次世代の発掘と探求支援の現場から～	○佐藤 克宏 堀米 直江 横倉 博子	角田市生涯学習課 角田市教育委員会 角田市教育委員会
V - 1	共同	地域まちづくり実践事例の紹介 ～地域と公民館が連携したまちづくり活動～	○木下 未也 菱沼 弘一	名取市那智が丘公民館 名取市那智が丘公民館
V - 1	共同	宮城県における父親のネットワークの活動事例	石垣 政裕	お父さんたちのネットワーク
V - 1	共同	こどもたちと共に学ぶ「防災」と地域づくりと公民館	○相原 由美 佐々木 真由美	大崎市古川清滝地区公民館 大崎市古川清滝地区公民館
V - 1	共同	「元気会」の立ち上げと今後の課題について	○成瀬 啓 青山 修司	栗原市立一迫小学校 美里町立南郷小学校
III - 21	共同	宮城県の家庭教育支援の充実を目指して ～宮城県家庭支援チームの取組から～	○佐々木 とし子 石垣 政裕 中保 良子 波多野 ゆか 佐藤 徳美	宮城県家庭教育支援チーム 宮城県家庭教育支援チーム 宮城県家庭教育支援チーム 宮城県家庭教育支援チーム 宮城県家庭教育支援チーム
V - 1	共同	尚綱学院大学ボランティアチームTASKIの10年間とこれから	○合田 隆史 ○荒川 信子 ○高橋 楓 ○梅津 ひよ ○渡邊 英斗 加賀 佑香 立花 和奏 中嶋 優美佳	尚綱学院大学 尚綱学院大学 尚綱学院大学 学生 尚綱学院大学 学生 尚綱学院大学 学生 尚綱学院大学 学生 尚綱学院大学 学生 尚綱学院大学 学生
V - 1	共同	公民館主催若者対象講座の企画・運営・評価活動を取り入れた社会教育実習の取組	○庄司 結衣 ○土井 彩華 水谷 修 高野 洋平	東北学院大学 学生 東北学院大学 学生 東北学院大学 仙台市生涯学習支援センター
V - 1	個人	学校と地域が連携・協働し、中学生が多様な世代の地域住民と共に学ぶ防災教育と生涯学習の取組実践	高橋 教義	仙台市東中田市民センター

3. 開会式 (13:00~13:10)

ホーイ記念館地下ホール (オンライン中継との併用)

概 要 : 坂口会長挨拶, 諸連絡

4. 生涯学習政策研究フォーラム (11月27日 (土) 13:10~15:35)

テーマ : 「生涯学習の実践と研究をつなぐフォーラム」

第1部 「基調講演と鼎談」 (13:10~13:55)

ホーイ記念館地下ホール (オンライン中継との併用)

【基調講演】

講 師 : 合 田 隆 史 氏 (尚絅学院大学学長, 日本生涯教育学会前会長)

テーマ : 都市-地方の枠組みを超えて一高度生涯学習社会を拓く

概 要 : 我が国の生涯学習振興政策は, 1970年代以降の経済成長, 情報化, グローバル知識社会化などの社会の変化を背景に, 「生涯学習社会の実現」を目標として掲げてきた。これに対し, 今後の超高齢化, 超スマート化に対応する次世代型の「高度生涯学習社会」の概念が提起されている。さらに, 東日本大震災等を受け, 中央教育審議会においては「命を守る」社会教育という観点が示されている。

このようないわば生涯学習2.0ともいえるべき学習システムには, 多様性を包摂するこれからの共生社会の基盤を支える重要な役割が期待される。既に, 都市-地方という枠組みを超え, 新たな時代に対応する創造的な取り組みが各地で進められている。

今大会では, 東京からいっとき東北, 仙台・宮城に「発想座」を移し, かつ対面・非対面ハイブリッドという新たな方法を活用することにより, 本学会会員以外の方々の積極的な参画も得て, 新たな高度生涯学習社会の構築への道筋を共に考える機会としたい。

【鼎 談】

登壇者 : 山 田 司 郎 氏 (名取市長)

渡 辺 一 馬 氏 (一般社団法人ワカツク代表)

合 田 隆 史 氏

第2部 「課題研究」 (14:05~15:35)

地方が抱える生涯学習推進上の課題をとりあげ, 研究者と実践者, 行政職員さらに学校教員なども含め参加者が2つの分科会に分かれ, 宮城県はもとより幅広く実践事例を共有しつつ, 解決の糸口を探る。

【課題研究Ⅰ】「東日本大震災から10年, いま私たちがやるべきこととは」

ホーイ記念館H301教室 (オンライン中継との併用)

<趣旨>

地域社会で取り組んだ震災復興の2つの事例をもとに, 次につなぐ10年を意識しながら 私たちがこれから目指すべき方向について話し合う。コメンテーターとして, 防災・復興の第一人者でもある諏訪清二氏 (防災教育学会会長・兵庫県立大学特任教授) をお招きし, 専門的な視点から助言・提言をいただく。

(1) 事例発表

- ①「地域防災活動が秘める可能性」 増田 恵美子 氏
(富谷市立成田中学校ささえ隊コーディネーター)
- ②「被災地支援から生まれた次代につなぐ活動」 成 宮 崇 史 氏 (認定NPO法人底上げ)

(2) パネルディスカッション

登壇者：増田 恵美子 氏 (事例発表者)
成 宮 崇 史 氏 (事例発表者)
諏 訪 清 二 氏 (コメンテーター・助言者)
野 澤 令 照 氏 (コーディネーター 宮城教育大学授特任教授)

【課題研究Ⅱ】「人口減少・ポストコロナ状況における地域づくりと社会教育 ～開かれ、つながる社会教育の実現に向けて～」

ホーイ記念館H302教室 (オンライン中継との併用)

<趣旨>

社会教育の強みである「人づくり」「つながりづくり」を発揮し、次世代育成や多様な市民の参画を進めることで、これからの地域社会を持続可能なものとするができる。新型コロナウイルスの感染拡大に伴って社会生活に変容が生じる中で、ICTの活用や多様な主体の協働などの取り組みがますます重要になってきている。各地の活動事例をもとに、社会教育・生涯学習推進の本質を改めて見つめ直すとともに、新しい時代における事業展開や政策のあり方を検討する。

(1) 事例発表

- ①「市民主体の復興と地域創造における学び」 後 藤 大 輝 氏 (NPO法人アスヘノキボウ)
- ②「公民館による地域づくりの取り組みと行政の役割」 山 本 一 穂 氏 (島根県教育庁社会教育課)
- ③「ICTの活用による市民参画プラットフォームの創出」 柵 富 雄 氏
(NPO法人地域学習プラットフォーム研究会)

(2) パネルディスカッション

登壇者：後 藤 大 輝 氏 (事例発表担当者)
山 本 一 穂 氏 (事例発表担当者)
柵 富 雄 氏 (事例発表担当者)
調 整 中 (コメンテーター)
梨本 雄太郎 氏 (宮城教育大学, コーディネーター)

5. 生涯学習実践事例研究部会（15:45～18:05）

ホーイ記念館地下ホール（オンライン中継との併用）

司会：桑村 佐和子（金沢美術工芸大学）

司会：石津 峰（国立教育政策研究所社会教育実践研究センター）

時間	コード	題 目	発表者	所 属
15:45 ～16:05	Ⅲ - 23	ジャパンホイスコーレDayの実践と課題	矢野 拓洋	東京都立大学大学院生
16:05 ～16:25	V - 1	兵庫県芦屋市の地域資源を活用した教育活動	八田 友和	クラーク記念国際高等学校
16:25 ～16:45	V - 1	新たな時代に向けたコミュニティ・スクールの導入 ～コロナ禍における震災10年後の歩み～	渡邊 康一	福島県西白河郡西郷村立熊倉小学校
16:45 ～17:05	V - 1	大学生による地域の魅力の再発見 ：生涯学習のオンライン授業を通して	植木 岳雪	帝京科学大学教育人間科学部
17:05 ～17:25	V - 1	小規模自治体におけるコミュニティ・スクールの仕組みを 活用した地域ぐるみによる防災・減災教育の推進体制の構築	松浦 賢一	北海道教育庁
17:25 ～17:45	V - 1	地域学校協働活動の実践 ～埼玉県川島町の取組～	神田 雅貴	埼玉県川島町
17:45 ～18:05	V - 1	“学び直し”を通じたキャリア支援事業の実践的研究	○水谷 修 （東北学院大学） ○阿部若奈 荒井美佐子 斎藤恵子 筒井幸子 畠山 明	「自立を目指す女性のための“学び直し” を通じたキャリア支援事業」実行委員会 公益財団法人せんだい男女共同参画財団 荒岩商事株式会社 公益財団法人せんだい男女共同参画財団 仙台市教育局 生涯学習部 一般財団法人学習能力開発財団

※ 口頭発表、質疑、紹介・入替を含め20分を1セットとします。

6. 情報交換・懇親会（18:30～ ）

（オンラインで実施）

司会：松田 道雄（尚絅学院大学）

司会：三浦 純（村田町教育委員会生涯学習課）

テーマ：「全国生涯学習関係者が語り合う、わがふるさと自慢・生涯学習自慢懇親会」

趣 旨：学会会員間の研究や近況の情報交換とともに、宮城県内を中心とする本大会参加者との親睦も深め
合う交流会を、会場とオンラインで行います。

大会概要 2日目（11月28日 日曜日）

1. 総会（9:15～ 9:45） ※ 学会員のみ （オンラインで実施）

2. 自由研究部会 研究発表 I（10:00～11:55） （オンラインで実施）

司会：A 春田 和男（東京家政大学）

司会：B 小池 茂子（聖学院大学）

司会：C 内山 淳子（佛教大学）

※ 個人発表：口頭発表，質疑を含め25分を1セットとします。

午前の部 グループ	開始時刻 時間	コード	個人 共同	題 目	発表者	所 属
A	10:00 ～10:25	Ⅱ－6	個人	公立図書館における専門図書館との連携・協力の状況	青柳 英治	明治大学
	10:30 ～10:55	Ⅱ－6	個人	地域運営組織における活動拠点としての社会教育施設の運営および活用実態	出口 寿久	北海道科学大学
	11:00 ～11:25	Ⅲ－34	個人	精神的自立が高齢者の社会参加に及ぼす影響に関する考察	神部 純一	滋賀大学
	11:30 ～11:55	Ⅱ－6	個人	戦後教育改革の検討過程における公共図書館に関する議論 －教育刷新委員会議録と文部省関係報告書－	葉袋 秀樹	筑波大学名誉教授
B	10:00 ～10:25	Ⅲ－5	個人	教育輸出の受容 －インドネシアにおける日系学習塾の目的の変容を事例として－	朝倉 隆道	富士通総研
	10:30 ～10:55	Ⅲ－1	個人	生涯教育・学習論における「統合」概念（8）	山田 誠	愛媛大学
	11:00 ～11:25	Ⅲ－22	個人	専門学校における昨今の動向～質保証の取組をはじめとして	船木 茂人	文部科学省
	11:30 ～11:55	Ⅲ－22	個人	COVID-19による若者への影響について －ウイズ/アフターコロナ時代への対応に向けた事前調査－	松本 有二	近畿大学短期大学部
C	10:00 ～10:25	Ⅳ－4	個人	コンテンツツーリズムによる地域活性化に関する考察	木村 祐介	二松学舎大学大学院生
	10:30 ～10:55	Ⅳ－1	個人	大都市圏郊外部における中年男性の地域貢献活動の実態と可能性に関する研究	森 勲男	神奈川大学大学院生
	11:00 ～11:25	Ⅳ－4	個人	子どもの放課後支援におけるアドバイザーのあり方の展望	茂野 賢治	東京工芸大学
	11:30 ～11:55	Ⅳ－4	個人	地域と大学（学生）の相互「関係人口」化に関する検討	高橋 利行	宮崎大学

3. 自由研究部会 研究発表Ⅱ (13:00~14:35)

(オンラインで実施)

司会：D天野 かおり (下関市立大学)

司会：E大島 まな (九州女子大学)

司会：F加藤 かおり (国立教育政策研究所)

※ 個人発表：口頭発表，質疑を含め25分を1セットとします。

※ 共同発表：人数に応じ1人15分で，口頭発表，質疑を含め60分を上限とします。

午後の部 グループ	開始時刻 時間	コード	個人 共同	題 目	発表者	所 属
D	13:00 ~13:25	Ⅱ - 2	個人	発表者の事情により、発表辞退		
	13:30 ~13:55	Ⅱ - 9	個人	学習における自己変容経験が他者への寛容さに及ぼす影響	木暮 照正	福島大学
	14:00 ~14:35	Ⅱ - 8	共同	社会教育関係職員の学習需要—経験資本との関連から—	○岩崎 久美子 ○赤尾 勝己	放送大学 関西大学
E	13:00 ~13:25	Ⅲ - 23	個人	岩手県におけるCS・地域学校協働本部等の現状	渡部 芳栄	岩手県立大学
	13:30 ~13:55	Ⅲ - 24	個人	筑前大島における学生による健康スポーツを通じた地域活性化 (Ⅲ)	山田 明	九州共立大学
	14:00 ~14:25	Ⅲ - 26	共同	ICTを活用した都内公立学校における外部人材活用について	○桜庭 望 志々田 まなみ 大嶋 尚史	一般財団法人東京学校支援機構 文部科学省国立教育政策研究所 一般財団法人東京学校支援機構
F	13:00 ~13:25	Ⅲ - 4	個人	子育て世代の生涯学習に対する支援	下山 佳那子	八洲学園大学
	13:30 ~13:55	V - 1	個人	生活から人生へと視野の広がりを目的とする言語教育実践 —学部生1年次対象の「口頭表現トレーニング」科目を事例として—	山内 薫	明治学院大学
	14:00 ~14:25	Ⅲ - 32	共同	青少年教育施設の家族参加型体験事業における参加者の特性	○庄子 佳吾 及川 未希生	桜の聖母短期大学 盛岡大学短期大学部

4. 学会長賞表彰 (14:50~15:00)

ホーイ記念館地下ホール (オンライン中継との併用)

5. 閉会式 (15:00~15:10)

ホーイ記念館地下ホール (オンライン中継との併用)

エクスカーション（大会前日 11月26日 金曜日）

日本生涯教育学会第42回大会エクスカーション（仙台コース）実施要項

仙台市教育局生涯学習支援センター

1. 目的

- 東日本大震災から10年が過ぎた被災地の現状と、震災時及び震災後の復興の様子等について、震災遺構・関連施設の見学や、施設職員・語り継ぎボランティアの話から学ぶ。

2. 日時 令和3年11月26日（金） 13:00 ～ 17:00頃（自由解散）

3. 場所 震災遺構仙台市立荒浜小学校/せんだい3.11 メモリアル交流館

4. 参加者 生涯教育学会参加者 25名程度

5. 移動手段 公共交通機関（仙台市営地下鉄東西線、市営バス等）を利用

6. 集合場所 仙台市営地下鉄東西線 荒井駅

7. 参加費 無料（ただし、地下鉄、バス料金は当日自己負担）

8. 内容

時 間	内 容	備 考
仙台市営地下鉄東西線（荒井駅行き：仙台駅から所要14分）等をご利用いただき、荒井駅までお越しください。		
13:10	地下鉄東西線荒井駅集合	・あいさつ 行程の説明
13:27	荒井駅出発	・仙台市営バスによる移動（荒浜小前ゆき、片道240円）
13:55	震災遺構荒浜小見学	・館内見学（スタッフによる説明付き）と「3.11荒浜小の27時間」視聴
15:15	せんだい3.11メモリアル交流館見学	・七郷語り継ぎボランティア「未来へ-郷浜」によるお話と施設内見学
17:00頃	荒井駅解散	

9. 申込方法・締め切り

＜申込方法＞

下記URLや二次元コードからお申し込みください。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?acs=SKG> 申込入力フォーム

＜申込締切＞ 11月12日（金） 17:00まで

※申込人数が多い場合は、先着順等で調整させていただきます。



10. その他

- ・ マスクの着用、咳エチケット、手洗いや手指の消毒にご協力ください。
- ・ 当日朝検温していただき、発熱など風邪のような症状がある場合は、参加をお控えください。
- ・ やむを得ず日程の変更や中止となる場合があります。

問合せ・緊急連絡先： 事業係 佐伯 修一
TEL：022-292-4875 FAX：022-295-0810
E-Mail：shuuichi_saeki_1@city.sendai.jp

研究領域・研究分野コード一覧表

〔研究領域〕	〔研究分野〕
I. 生涯学習研究	1. 生涯学習理論 2. 生涯学習研究方法論 3. 生涯学習史 4. 生涯発達論 5. 生涯学習内容・方法論
II. 生涯学習支援研究	1. 生涯学習振興・推進論 2. 生涯学習支援システム論 3. 生涯学習行財政論 4. 学習情報論 5. 学習相談論 6. 生涯学習関連施設論 7. 学習機会提供論 8. 生涯学習人材論 9. 生涯学習評価論 10. 学習成果活用論 11. その他の生涯学習支援研究
III. 生涯教育研究	1. 生涯教育理論 2. 生涯教育領域論 21. 家庭教育論 22. 学校教育論 23. 社会教育論 24. 生涯スポーツ・社会体育論 25. 企業教育論 26. 遠隔教育論・放送教育論・通信教育論 3. 生涯各期の教育・学習論 31. 乳幼児教育・学習論 32. 青少年教育・学習論 33. 成人教育・学習論 34. 高齢者教育・学習論 4. 女性の生涯教育・学習論 5. 各国の生涯教育・生涯学習
IV. 総合・複合研究	1. 総合・複合研究生涯学習 2. 社会論マスコミ文化論 3. 現代的課題研究
V. 実践事例研究	1. 実践事例研究

- (1) 各研究発表に付されているコードは、上記の表によるものです。
- (2) コードは発表申込者の申請によるものです。ただし記入のないものは委員会の判断でコードを付し、また2つ以上記入のあるものは主なもの1つのみを付してあります。
- (3) 所属は原則として発表申込者の申請によるものです。

MEMO

A series of 20 horizontal dotted lines, evenly spaced, spanning the width of the page. Each line is composed of small, light gray dots.